

インフルエンザ(2026 年第 6 週)疫学情報

《コメント》

2026 年第 6 週の定点当たり報告数は 43.34(患者報告数 164,744)となり、前週の定点当たり報告数 30.03 よりも増加した。都道府県別では鹿児島県(74.82)、大分県(69.67)、千葉県(62.69)、愛媛県(61.62)、宮城県(60.82)、山梨県(60.23)、埼玉県(60.17)、栃木県(58.40)、宮崎県(56.93)、静岡県(56.00)、神奈川県(55.76)、愛知県(55.28)、茨城県(55.03)、長崎県(54.59)、三重県(53.38)、福島県(53.23)、熊本県(52.21)の順となった。全国 47 都道府県中、46 都道府県では前週の報告数よりも増加し、1 都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は 834 例であり、前週(708 例)から増加した。47 都道府県から報告があり、年齢別では 1 歳未満(43 例)、1～4 歳(99 例)、5～9 歳(185 例)、10 代(162 例)、20 代(22 例)、30 代(24 例)、40 代(26 例)、50 代(23 例)、60 代(34 例)、70 代(70 例)、80 歳以上(146 例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近 5 週間(2026 年第 2 週～2026 年第 6 週)では、AH3 亜型が 140 件(52%)、B 型が 129 件(48%)、AH1pdm09 が 1 件(0%)であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト([https://idw-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html](https://idw.info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html))を参照されたい。